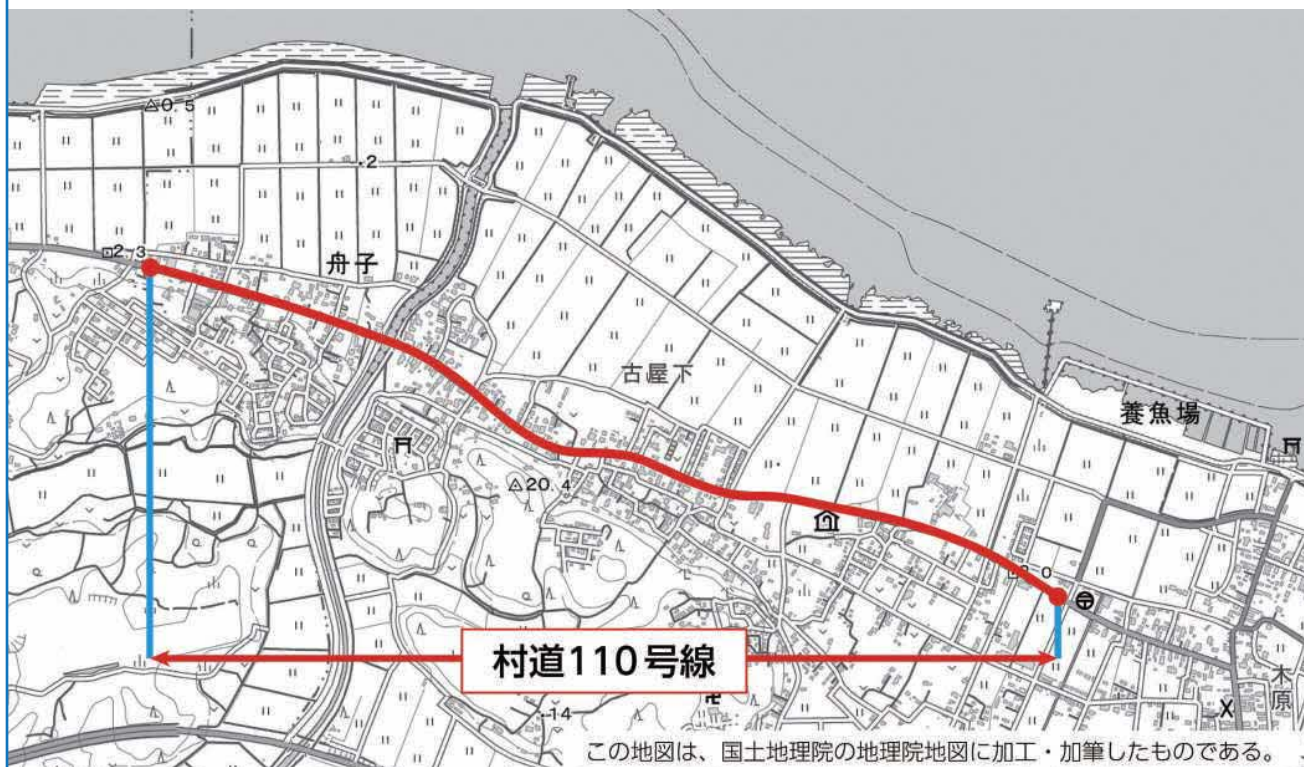


一般国道125号一部区間が村道に移管されました

一般国道125号の一部区間（木原郵便局奥～舟子）が、茨城県より移管され、村道110号線として村で管理を行うこととなりました。本路線に係る連絡や要望等は役場都市建設課までお願いします。

▶移管日 令和6年8月1日

▶移管区間 美浦村木原424番1地先から美浦村舟子1番1地先まで



■問合せ 都市建設課 ☎029-885-0340 (内) 222



みほ文芸

正調俚謡 日和吟社 字結び「秋・寒」

残暑続きの九月が終わり秋の装い出番なし

猛暑続きも終わったはずが暑さ再び秋いつこ

何を食うかと考えあぐねやほりそうだと秋刀魚焼く

急ぐ収穫実りの秋に鳥と休憩コンバイン

続く猛暑と言ってるうちに秋が静かに忍びよる

地球沸騰世界に異変魚穀物獲れぬ秋

誰に淋しさ打ち明けようか迷う風情の秋の蝶

暑さ耐えぬき忘れず咲いて秋の風呼ぶ彼岸花

焼いたサンマの香りと共に秋を味わう年金日

期待裏切る値上げの秋よ弱者切り捨てもう御免

今じゃさわやか湯上がり髪を包む秋風虫の声

とんぱ群れ飛び追いかける手にはコスモス秋の孫

秋の登山は紅葉に染まり釣瓶落としに急ぐ下り

痩せの秋刀魚がほどよく焼けてすだち添えれば旬の膳

虫が奏でる音色に浸り秋の夜長の一人酒

秋の奥能登旅した地には泥にまみれた救助隊

秋の紅葉キノコを探し山は筑波の裾歩き

十月の俳句 (題 当季雑詠)

夏のばらつづけて秋のばらとなり

名月や黙で見上げる老二人

萩の花枝もたわに揺れやまず

屋の雷産土大樹裂き去りぬ

みち道を金木犀の癒し受く

爽やかや窓を放てば風の道

霞浦辺りのかばす賜り魚買う

秋の暮れ義弟の年忌早や一年

墓参り道は落葉の重なりぬ

医院の秋ホールに集う四重奏

(五十音順)

石戸 律華

伊藤 葉子

井戸 賀蘇道

上野 八千代

小蘭 江久美

門脇 悠美

篠原 美千代

関根 秀子

高橋 一步

田島 草実

塚本 夏雲

沼崎 朋香

長谷川 悦子

増尾 青蓮

山岡 亜子

山崎 笑子

山崎 泰弘

(五十音順)

市川 紀行

海道 民子

高柳 幸子

田島 早苗

中島 輝子

長田 敏笑

増尾 尚子

松葉 統子

村崎 典子

山口 美代子